

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 6 月 13 日現在

機関番号：21301

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2019～2022

課題番号：19H03924

研究課題名(和文) 看護管理者のキーコンピテンシー獲得に向けた教育プログラムの開発と有用性の検証

研究課題名(英文) Development of Key Competencies Program for Nursing Managers and Verifying the Effectiveness of the Program

研究代表者

金子 さゆり (kaneko, sayuri)

宮城大学・看護学群・教授

研究者番号：50463774

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,300,000円

研究成果の概要(和文)：安全で質の高いケアを提供していくためには、看護人的資源の質向上が必須であり、そのためには看護管理者のマネジメント能力の向上が不可欠である。本研究は、看護管理者のマネジメント能力の向上を目指して、看護管理者が効果的に役割を果たすために鍵となる5つのキーコンピテンシーの獲得に向けた教育プログラムを開発した。4つのプログラムを実施し、その有用性を検証した結果、いずれのプログラムにおいても、研修前から研修後1か月、3か月後にはキーコンピテンシーが上昇した。研修プログラムを受講することによって看護管理者のキーコンピテンシーの向上が期待されることが示された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

看護管理者には限られた環境や人的資源の中で、より安全で質の高いケアを組織的に提供していくための効果的な看護マネジメントが求められている。今回開発したプログラムを受講することによって、看護管理者のキーコンピテンシーの向上が期待され、効果的な看護マネジメントを実施していくことが可能になる。

研究成果の概要(英文)：Improving the quality of the nursing workforce is essential to the provision of safe, high quality care, and improving the management skills of nurse managers is essential to this. The aim of this study was to develop an educational program aimed at improving the management skills of nurse managers. The educational program focuses on the acquisition of key competencies that are essential for nurse managers to be effective in their roles. Four programs were implemented and their usefulness was tested. The results showed that in all programs the five key competencies (situational awareness, meta-cognition, career support, decision making and self-management) increased from pre-training to one month and three months post-training. The results indicated that participation in one of the programs could be expected to improve the key competencies of nurse managers.

研究分野：看護管理学

キーワード：看護管理者 コンピテンシー プログラム マネジメント 教育 能力 役割

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様式 C - 19、F - 19 - 1 (共通)

1. 研究開始当初の背景

医療を取り巻く社会状況の変化を背景に、看護職員の疲弊感の増大や離職といった問題が顕在化している。安全で質の高いケアを提供していくためには、看護人的資源の量的確保ならびに質的向上が必須であり、看護管理者のマネジメント能力の向上が求められている。

看護管理者の役割は、「安全かつ質の高い看護を継続的かつ一貫性をもって提供するために、看護管理者は看護実践に必要な資源を管理しながら、看護職員が十分に能力を発揮して働き続けられるように職場環境を整え、看護実践を評価して質の向上に努め、看護職員が看護実践能力を保持していくための教育的環境を整え、各人の成長と職業上の成熟を支援する」ことである(日本看護協会、2016)。看護管理者がこの役割を効果的に遂行していくためには看護管理者のマネジメント能力としてキーコンピテンシーの獲得が欠かせない。

看護管理者のキーコンピテンシーは「看護管理者の役割を効果的に果たすために鍵となる思考や行動パターン」と定義され、5つの要素(状況認識・意思決定・メタ認知・キャリア支援・自己管理)からなる。研究者らは、看護管理者のキーコンピテンシーについて、測定尺度を開発し、関連要因を検証してキーコンピテンシーの獲得メカニズムを明らかにした。

これら研究成果をもとに、看護管理者に求められる役割を効果的に果たすために必要不可欠であるキーコンピテンシーの獲得に向けた効率的かつ効果的な教育プログラムを構築することが次の課題であると考えた。

2. 研究の目的

本研究は、看護管理者のマネジメント能力の向上を目指して、看護管理者が効果的に役割を果たすために鍵となるキーコンピテンシーの獲得に向けた教育プログラムを開発し、その有用性を検証する。

3. 研究の方法

(1)看護管理者のキーコンピテンシーのベンチマーク

看護管理者自身のキーコンピテンシー獲得状況を評価するためには、現状のキーコンピテンシーレベルを数量的に把握すること、そして、全国の看護管理者のベンチマーク(基準)と照らし合わせて、目標となるレベルを明確にする必要がある。そこで、全国の特設機能病院、地域医療支援病院、一般病院のうち、研究協力の内諾が得られた422施設に勤務する看護管理者9010名を対象に行ったアンケート調査のデータベースを用いて、看護管理者のキーコンピテンシーである5つの要素(状況認識・意思決定・メタ認知・キャリア支援・自己管理)のベンチマーク(基準)を算出した。ベンチマークは全国の看護管理者の平均値や四分位値などを求め、さらに、個人属性および施設特異性にも算出した。

(2)看護管理者のキーコンピテンシーの獲得に向けた教育プログラムの開発

先の研究成果として、看護管理者のキーコンピテンシー獲得に向けたモデルの定量的評価を行った結果、キーコンピテンシー獲得には内的要因であるリフレクション等が関連していることが見出された。これら研究結果をもとに研究者らで議論を重ね、教育プログラムを検討した。

教育プログラムの内容は、キーコンピテンシー5要素(状況認識・意思決定・メタ認知・キャリア支援・自己管理)に加えて、リフレクションや自己マスタリーなどを取り入れた。また、教育プログラムを構成するにあたり、ピーターセンゲの「学習する組織」、ガニエの「9教授事象」、エビングハウスの「忘却曲線」、コルブの「経験学習サイクル」などの理論をもとにして組み立てた。教育プログラムの所要時間は、学習機会を確保するための導入編としてベーシックコース(6時間)、学びを深めるためのアドバンスコース(18時間)の2段階で設定した。

(3)看護管理者のキーコンピテンシーの獲得に向けた教育プログラムの有用性の検証

4つの地域(東京、名古屋、神戸、長野)において、大学病院3施設と地域中核病院6施設の看護管理者を対象に、教育プログラムを実施し、その有用性を検証した。具体的には、評価指標として「看護管理者のキーコンピテンシー尺度(KCSNM)」を用い、それぞれの教育プログラムについて研修前、研修直後、研修1か月後、研修3か月後の縦断データを収集し、研修後のキーコンピテンシー獲得状況について検証した。

4. 研究成果

(1)看護管理者のキーコンピテンシーのベンチマーク

全国の看護管理者のキーコンピテンシーの得点(平均±標準偏差)は、【状況認識】17.5±2.7点、【意思決定】16.7±2.8点、【メタ認知】19.2±2.3点、【キャリア支援】16.4±3.2点、【自己管理】17.3±2.6点であった。また、キーコンピテンシーの中央値(四分位範囲)は、【状況認識】18.0(16.0-19.0)点、【意思決定】17.0(15.0-18.0)点、【メタ認知】19.0(18.0-21.0)点、【キャリア支援】17.0(14.0-18.0)点、【自己管理】17.0(16.0-19.0)点であった。今回提

示した全国の看護管理者のキーコンピテンシー得点と、看護管理者が個々に自己評価したキーコンピテンシー得点を比べることで、全国レベルから見た自分自身の位置づけ、現状のキーコンピテンシーレベルを把握することが可能になる。

全国の看護管理者のキーコンピテンシーのベンチマークを示すだけでなく、5つのキーコンピテンシーそれぞれについて、個人属性別や施設特性別にも数値を示した。この個人属性別のベンチマークの数値を参考にすることで、個々の看護管理者の個人属性に近い形で目指すべき目標値を設定することが可能になる。また、施設特性別のベンチマークを示すことは各施設で行われている看護管理者研修などの教育評価として目指すべき目標値を設定することが可能になる。

このように、看護管理者のコンピテンシーのベンチマークを示すことによって、個人属性や所属施設の特性に応じた目標値を設定することが可能になり、看護管理者の自己研鑽や看護管理者教育のあり方を見直す契機になると考える。

(2)看護管理者のキーコンピテンシーの獲得に向けた教育プログラムの開発

教育プログラムは、ベーシックコース(6時間)、アドバンスコース(18時間)の2段階で設定していたが、臨床からの要望があり、ベーシックとアドバンスの中間(12時間)のコースを設定し、4つのプログラム(A:6時間×1日、B:6時間×3日、C:2時間×6回、D:6時間×2日)を実施した。

プログラムAは、1日6時間で学ぶプログラムである。臨床現場で多忙な業務に追われ、時間的制約を受けやすい看護管理者の状況を考慮し、現実的かつ効果的な運用にすため、5つのキーコンピテンシーを1日間で網羅的に習得できる構成とした。また、プログラムAは講義を中心とした知識教授型の研修ではなく、グループワークやディスカッション(ゲーミフィケーション)の要素を取り入れたアクティブラーニング型研修であり、実践に使える知識とスキルの習得を目指している。

プログラムBは、6時間×3日間の計18時間で学ぶプログラムである。プログラムBは、「学習する組織」の考え方に着目して構成されている。自部署を「学習する組織」にすためには、5つのディシプリン「自己マスタリー」「共有ビジョン」「システム思考」「メンタルモデル」「チーム学習」を体系的に学ぶ必要があるため、プログラムBでは、第1段階「自分を知る、相手を知る」の中でディシプリンの「メンタルモデル」と「チーム学習」を学び、第2段階「部分最適から全体最適へ」の中で「システム思考」を学び、第3段階「個人ビジョンと組織ビジョンをつなぐ」の中で「自己マスタリー」と「共有ビジョン」を学ぶ内容構成とした。キーコンピテンシー獲得プログラムは、研修で得た知識をインプットで終わらずに、現場でアウトプットして、理解したことが実践できるようになることを目指している。そのため、リフレクションの時間を意図的に設けて、月に1回のペースで3か月間かけて学ぶように工夫した。

プログラムCは、2時間×6回で学ぶプログラムである。プログラムCは、プログラムBから、よりエッセンスを絞った内容で構成されている。プログラムCの特徴は、毎回の研修で習得した知を実際の看護管理場面で実践し(知の実践)、次回の研修のはじめにグループリフレクションを行って知の実践を共有することを目指すている。また、研修を毎月定期的に開催することによって、研修効果の持続性を期待している。

プログラムDは、基本形であるプログラムAとプログラムBの内容を6時間×2日間で凝縮して学ぶプログラムである。1回目と2回目の間隔を約1か月開け、1回目で学んだ内容を受講生の看護管理の実際で活用することを2回目までの課題にし、2回目に発表して共有するように組み立てている。看護管理者としての悩みを共有し、お互いにフィードバックをもらうことで解決方法を見出すことができるようになることを期待している。

(3)看護管理者のキーコンピテンシーの獲得に向けた教育プログラムの有用性の検証

当初予定していた教育プログラムは、演習などを組み込んだ対面式の研修であり、予定していた研修内容はコロナ禍のため実施できず、一部遠隔に変更して実施した。また、コロナ感染拡大地域においては研修時期を変更するなど、年度を跨いでの実施となった。

看護管理者のキーコンピテンシー獲得に向けた4つの教育プログラムを実施し、その有用性について「看護管理者のキーコンピテンシー尺度」を用いて研修後のキーコンピテンシー獲得状況について検証した。その結果、いずれの教育プログラムにおいても、研修前から研修後1か月、3か月後にはキーコンピテンシーの5要素(状況認識、メタ認知、キャリア支援、意思決定、自己管理)が上昇しており、研修プログラムのいずれかを受講することによって看護管理者のキーコンピテンシーの向上が期待されることが示された。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計13件（うち査読付論文 4件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 松浦正子、ウィリアムソン彰子、岡島恵子、黒田直美	4. 巻 31(10)
2. 論文標題 【看護管理者のキーコンピテンシー 5つのキーコンピテンシーと教育プログラム】キーコンピテンシー獲得に向けた教育プログラムA	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 看護管理	6. 最初と最後の頁 888-892
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子さゆり、松浦正子、ウィリアムソン彰子、井本英津子	4. 巻 42
2. 論文標題 看護管理者のキーコンピテンシーのベンチマークと 個人属性・施設特性との関連の検証	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本看護科学学会誌	6. 最初と最後の頁 11-20
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 松浦正子、ウィリアムソン彰子、井本英津子、金子さゆり、	4. 巻 2
2. 論文標題 看護管理者のキーコンピテンシーと内的要因および外的要因との関連	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 大阪信愛学院大学紀要	6. 最初と最後の頁 23-33
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井本英津子、金子さゆり	4. 巻 42
2. 論文標題 看護管理者のキーコンピテンシー向上のための研修プログラムの有効性の検証	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本看護科学学会誌	6. 最初と最後の頁 772-780
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子さゆり	4. 巻 16
2. 論文標題 【看護管理者としての価値を高めるキーコンピテンシーの獲得】 看護管理者に必要なキーコンピテンシーとは	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nursing BUSINESS	6. 最初と最後の頁 802-808
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子さゆり	4. 巻 16
2. 論文標題 【看護管理者としての価値を高めるキーコンピテンシーの獲得】 キーコンピテンシー活用による管理者の変化と成長	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nursing BUSINESS	6. 最初と最後の頁 809-813
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子さゆり	4. 巻 33
2. 論文標題 Share & Dialogue 今こそ対話を「看護管理者のキーコンピテンシー」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 看護管理	6. 最初と最後の頁 853-859
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子 さゆり	4. 巻 31(10)
2. 論文標題 看護管理者のキーコンピテンシー:5つのキーコンピテンシーと教育プログラム「看護管理者のキーコンピテンシーに関する研究」の概説	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 看護管理	6. 最初と最後の頁 858-865
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子 さゆり	4. 巻 31(10)
2. 論文標題 看護管理者のキーコンピテンシー:5つのキーコンピテンシーと教育プログラム,キーコンピテンシー獲得に向けた教育プログラム-4つの研修プログラムについて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 看護管理	6. 最初と最後の頁 886-887
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子 さゆり, 井本 英津子, 小野 園枝, 藤澤 あきつ	4. 巻 31(10)
2. 論文標題 【看護管理者のキーコンピテンシー 5つのキーコンピテンシーと教育プログラム】キーコンピテンシー獲得に向けた教育プログラムB	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 看護管理	6. 最初と最後の頁 893-898
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川崎 つま子, 金子 さゆり, 江尻 昌子, 原田 裕美	4. 巻 31(10)
2. 論文標題 【看護管理者のキーコンピテンシー 5つのキーコンピテンシーと教育プログラム】キーコンピテンシー獲得に向けた教育プログラムC	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 看護管理	6. 最初と最後の頁 899-902
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平岡 翠, 金子 さゆり, 村田 佐知子	4. 巻 31(10)
2. 論文標題 【看護管理者のキーコンピテンシー 5つのキーコンピテンシーと教育プログラム】キーコンピテンシー獲得に向けた教育プログラムD	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 看護管理	6. 最初と最後の頁 903-905
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金子さゆり, 川崎つま子, 松浦正子, ウィリアムソン彰子, 平岡 翠, 鈴江智恵, 伊藤てる子, 真下綾子, 近藤恵子	4. 巻 40
2. 論文標題 看護管理者のキーコンピテンシー尺度の開発	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本看護科学会誌	6. 最初と最後の頁 484-494
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計22件 (うち招待講演 1件 / うち国際学会 10件)

1. 発表者名 浅香えみ子, 井上真奈美, ウィリアムソン彰子, 大原彰子, 岡島恵子, 小淵美樹子, 金子さゆり, 南谷志野, 深澤優子, 矢野祐美子
2. 発表標題 看護管理に資する研究活動の支援
3. 学会等名 第26回日本看護管理学会学術集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 金子さゆり
2. 発表標題 査読者と執筆者のコラボレーション-よりよい論文になるために-
3. 学会等名 第26回日本看護管理学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Sayuri Kaneko
2. 発表標題 Verification of the effectiveness of training programs to improve the key competencies of nursing managers
3. 学会等名 International Council of Nurses Congress 2023 (in Montreal) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 金子さゆり, 井本英津子
2. 発表標題 看護管理者のキーコンピテンシー向上のための研修プログラムの有効性の検証
3. 学会等名 第41回日本看護科学学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Akiko Williamson, Masako Matsuura, Sayuri Kaneko
2. 発表標題 The construction and evaluation of key competency improvement programs for nursing managers in JAPAN
3. 学会等名 International Council of Nurses Congress 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 谷川幸弘、金子さゆり
2. 発表標題 セカンドレベル研修の調査時期別による看護管理者コンピテンシーの縦断研究 - NACASを使った評価 -
3. 学会等名 第 52 回日本看護学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金子さゆり、松浦正子、ウィリアムソン彰子、川崎つま子、平岡翠、井本英津子
2. 発表標題 看護管理者のキーコンピテンシー向上のための研修を考える
3. 学会等名 第25回日本看護管理学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 谷川幸弘、金子さゆり
2. 発表標題 認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講生の看護管理者マネジメント能力の縦断的調査の分析
3. 学会等名 第25回日本看護管理学会学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 金子さゆり、井本英津子、川崎つま子、松浦正子、ウィリアムソン彰子、平岡翠
2. 発表標題 看護管理者のキーコンピテンシー：個人属性および施設特性別ベンチマーク
3. 学会等名 第40回日本看護科学学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 松浦正子、ウィリアムソン彰子、金子さゆり
2. 発表標題 看護管理者のキーコンピテンシー獲得に向けた教育プログラムの評価
3. 学会等名 第40回日本看護科学学会学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Sayuri Kaneko, Etsuko Imoto, Masako Matsuura, Akiko Williamson, Tsumako Kawasaki, Sui Hiraoka
2. 発表標題 Relationship between the key competencies of nurse managers and a hospital scale in Japan
3. 学会等名 International Council of Nurses Congress 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kaneko Sayuri, Williamson Akiko, Matsuura Masako
2. 発表標題 Relationship between the Training of Certified Nurse Administrators and Competency of Nurse Managers in Japan
3. 学会等名 International Council of Nurses Congress 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Williamson Akiko, Matsuura Masako, Kaneko Sayuri
2. 発表標題 The Key Competency of Nurse Managers in Japan
3. 学会等名 International Council of Nurses Congress 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 金子さゆり, 川崎つま子, 松浦正子, ウィリアムソン彰子, 平岡翠, 鈴江智恵, 伊藤てる子, 真下綾子, 近藤恵子
2. 発表標題 看護管理者のキーコンピテンシーと内的要因および外的要因との関連
3. 学会等名 第23回日本看護管理学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 花岡佳子, 武井美佐緒, 油井京子, 金子さゆり
2. 発表標題 中堅看護職から中間管理者への役割移行における意識の明確化および中間管理者育成支援
3. 学会等名 第23回日本看護管理学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 金子さゆり, 井本英津子, 川崎つま子, 松浦正子, ウィリアムソン彰子, 平岡翠
2. 発表標題 中間看護管理者のキーコンピテンシーと内的要因との関連
3. 学会等名 第39回日本看護科学学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 井本英津子, 金子さゆり, 川崎つま子, 松浦正子, ウィリアムソン彰子, 平岡翠
2. 発表標題 中間看護管理者のキーコンピテンシーと外的要因との関連
3. 学会等名 第39回日本看護科学学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sayuri Kaneko, Etsuko Imoto, Akiko Williamson, Masako Matsuura
2. 発表標題 Relationship between Key Competencies and Personal Characteristics of Nursing Managers in Japan
3. 学会等名 The 6th international nursing research conference of world academy of nursing science (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Etsuko Imoto, Sayuri Kaneko, Akiko Williamson, Masako Matsuura
2. 発表標題 Nursing management competence: A comparison study
3. 学会等名 The 6th international nursing research conference of world academy of nursing science (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Masako Matsuura, Akiko Williamson, Etsuko Imoto, Sayuri Kaneko
2. 発表標題 Relationship between Competencies and External Factors of Nurse Managers in Japan -Comparison of the middle and lower managers-
3. 学会等名 The 6th international nursing research conference of world academy of nursing science (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Akiko Williamson, Masako Matsuura, Etsuko Imoto, Sayuri Kaneko
2. 発表標題 Relationship between Competencies and Internal Factors of Nurse Managers in Japan
3. 学会等名 The 6th international nursing research conference of world academy of nursing science (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yoshiko Hanaoka, Misao Takei, Kyoko Yui, Sayuri Kaneko
2. 発表標題 Attitudes among mid-career nursing professionals towards role transition to middle management
3. 学会等名 The 6th international nursing research conference of world academy of nursing science (国際学会)
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 日本看護管理学会学術情報委員会	4. 発行年 2021年
2. 出版社 一般社団法人日本看護管理学会	5. 総ページ数 276
3. 書名 看護管理関連用語集第3版	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	松浦 正子 (Matsuura Masako) (30379440)	日本赤十字豊田看護大学・看護学部・教授 (33941)	
研究分担者	ウィリアムソン 彰子 (Williamson Akiko) (40382262)	神戸大学・医学部附属病院・看護師 (14501)	
研究分担者	川崎 つま子 (Kawasaki Tumako) (30767455)	東京医科歯科大学・医学部附属病院・看護部長 (12602)	
研究分担者	平岡 翠 (Hiraoka Sui) (80796178)	岐阜保健大学・看護学部・教授 (33709)	
研究分担者	井本 英津子 (Imoto Etsucho) (00813768)	長野県看護大学・看護学部・講師 (23601)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関